

「宿題ってなぜするの？先生が出すから？」

11 月に実施しました学校アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。いただいた結果をお知らせいたします。学校運営協議会でも話をしました。是非、一度お子様と話し合ってみてください。

A よくあてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D まったくあてはまらない

	学校評価（児童） 合計が端数の関係で 100 にならないものもあります	A	B	C	D	肯 否
1	学校へ行くのが楽しい。	41	46	10	3	87 13
2	授業で友達の意見を聞いたり、お互いの考えを話し合ったりすることが楽しい。	41	47	7	5	88 12
3	授業はわかりやすい。	57	38	5	0	95 5
4	先生は教え方を色々工夫している。	63	34	2	1	97 3
5	自分にとって、居心地のよいクラスだと思う。	52	33	12	3	85 15
6	先生たちは、自分のことを思って良いところや悪いところを伝えてくれる。	62	34	3	1	96 4
7	自分を大切にすることや、他の人への思いやりについて学んでいる。	56	37	7	0	93 7
8	自分からあいさつをしている。	39	36	20	5	75 25
9	学校のことで悩みや不安があるときに、話そうと思う先生や大人がいる。	50	29	13	8	79 21
10	学校で勉強することの意味や働くことの大切さについて教えてもらっている。	43	53	4	0	96 4
11	地震や火事・不審者から身を守る方法を知っている。	71	25	4	0	96 4
12	早寝早起き、朝食をとるなど、規則正しい生活をしている。	33	41	19	7	74 26
13	自分から進んで家庭学習や宿題に取り組んでいる。	36	37	22	5	73 27

アンケートから見えてくること（児童編）

摂陽小学校の児童は質問 4「先生が教え方を工夫している」質問 3「授業がわかりやすい」と答えている。学校が楽しいのは授業がわかるからで、先生に対する最高の評価であるとうれしく思います。質問 3「授業がわかりやすい」という項目に関して令和 3 年度 8 9 % 令和 4 年度 9 2 % 令和 5 年度 9 3 % 令和 6 年度 9 5 %と授業技術の向上と共に子どもの意欲が高まっているのがわかります。一方、質問 13「自分から進んで学習や宿題に取り組んでいる」と主体性を問われる質問には約 3 割の児童が「やらされている」意識があるのも気になります。今後、主体的に児童を育成するために、興味のあることを自分から見つける探求学習、自分で学習計画を立て宿題に取り組むなど、「自分から」をキーワードに指導してまいりますのでご家庭でもご協力お願いいたします。

	学校評価（教師） 合計が端数の関係で 100 にならないものもあります	A	B	C	D	肯否
1	児童が理解しやすい「よくわかる授業づくり」をするための教材研究をする時間が確保できている。	9	68	23	0	77 23
2	ICT 機器を、校務と授業の両面から効果的に取り入れている。	45	50	5	0	95 5
3	家庭学習の習慣化(毎日低 30 分、中 45 分、高 60 分以上)のため、宿題を通して指導する体制が整っている。	23	64	13	0	87 13
4	授業や学級経営において、お互いの意見を聞き認め合うことができる、有意義な話し合い活動を取り入れている。	50	50	0	0	100 0
5	宿題の量の調整や授業中の声かけなど、一斉指導以外で児童一人ひとりの教育的ニーズに合わせた支援に努めている。	55	45	0	0	100 0
6	学校は、児童に勉強することの意味や働くことの大切さを教えている。	45	55	0	0	100 0
7	学校は、基本的な生活習慣や身辺整理、交通ルールなど日常生活に関する指導をしている。	59	41	0	0	100 0
8	学校は、問題行動が起きたとき、組織的に対応できる体制が整っている。	90	10	0	0	100 0
9	学校は、悩みや不安を抱えている児童の相談にのる体制が整っている。	73	22	5	0	95 5
10	学校は、支援を要する児童の共通理解を図り、適切な校内体制を組んでいる。	73	27	0	0	100 0
11	学校は、緊急時に児童の安全を確保できる体制が整っている。	64	31	5	0	95 5
12	学校は、児童の健康管理や実態について、担任・養護教諭・管理職が情報を共有できている。	73	27	0	0	100 0
13	学校は、職員集団として適切に機能させるため、業務改善委員会を通して、業務の改善が図られている。	36	54	9	0	91 9
14	学校は、児童・保護者に関する個人情報を保護する体制が整っている。	55	35	5	5	90 10
15	学校は、保護者や地域の方との連携と、業務のバランスが取れている。	22	72	5	0	95 5
16	学校は、児童や地域の実態をふまえた校内研修を行っている。	40	60	0	0	100 0
17	学校は、学習の場として学校の設備や用具が使いやすいよう整備されている。	45	50	5	0	95 5

アンケートから見えてくること（教師編）

質問 1「よくわかる授業づくり」を実現するために教材研究する時間を確保できていないというのは事実であり、学校も深刻に受け止めている。放課後の時間の確保、会議の精選、定時退勤日や留守番電話の設定など取り組んでいます。まだまだ課題であるとわかりました。国が定める標準時数確保しつつ教育課程で「短縮授業」、「掃除なし校時」を取り入れていきますのでご理解お願いいたします。質問 10 支援を要する児童の情報共有、質問 8 問題行動の組織的対応など教職員が 1 人で悩まない、児童に寄り添う体制を大切にしています。家庭学習や保護者の方との連携がカギとなります。HP やメールなどで学校情報を提供して参りますので引き継ぎよろしく願いいたします。

	学校評価（保護者）合計が端数の関係で 100 にならないものもあります	A	B	C	D	肯否
1	子どもは、楽しく学校に通っている。	68	31	1	0	99 1
2	子どもは、学習内容を理解している。	36	57	7	0	93 7
3	子どもは、本を進んで読んでいます。	27	30	31	12	57 43
4	子どもは、進んで挨拶をしている。	24	54	21	1	78 22
5	子どもは、学校で自分を大切にすることや他人への思いやりについて学んでいる。	50	47	3	0	97 3
6	子どもは、自分の身を守り安全に生活するための方法を理解している。	35	54	11	0	89 11
7	子どもは、勉強することの意味や働くことの大切さを理解している。	24	59	17	0	83 17
8	学校は、早寝・早起き、朝ご飯を食べるなど、規則正しい生活や健康的な生活について、意識するよう呼びかけている。	52	43	5	0	95 5
9	学校では、子ども・保護者に関する個人情報適切に保護されている。	64	35	1	0	99 1
10	学校は、教育方針や行事、活動などの様子を学校だよりやホームページ等を通じて保護者に伝えている。	74	25	1	0	99 1
11	学校は、保護者や地域の方に授業や行事などを公開したり、懇談会や説明会を開いたりしている。	71	28	1	0	99 1
12	学校は、学習の場として子どもが活動しやすい環境を整えている。	60	38	2	0	98 2
13	学校は、日頃から子どもたちに身のまわりの環境を整えるようにさせている。	52	44	4	0	96 4
14	学校は、宿題等を活用して、家庭と連携して家庭学習の習慣化を図るよう努めている。	55	41	4	0	96 4
15	学校は、保護者が学習や集団生活で身につけてほしいと願っていることに応えている。	47	49	4	0	96 4
16	学校は、学級会や授業などで意見を発表し、話し合うことを大切にしている。	56	40	4	0	96 4
17	教職員に、子どものことについて相談できる。	55	43	2	0	98 2
18	教職員は、子どものことを適切に評価・理解している。	60	38	2	0	98 2
19	教職員は、子どもが困っているときにそれに対する支援を行っている。	59	38	3	0	97 3

- ・行き渋りがある子ですが、先生がちゃんと見て下さっていると感じているようで、安心して毎日通うことが出来ており感謝しています。
- ・いつもお忙しい中、子どもたちにしっかり向き合っている先生方は本当にすごいです。
- ・職員の方々にとっても働きやすい環境になり良い人財が長期に渡り活躍されることを願っています。
- ・子どもたち一人一人についてどの先生も真摯に向き合ってください、感謝の気持ちで一杯です。
- ・色々と配慮や対応が必要な我が子が過ごしやすいうように、頑張れるように日々サポートしていただいている助かっています。おかげで楽しく通えていると思います。
- ・先日、紙のアンケートで答えたような気がします。紙と chrom で連絡があるため、把握しきれません。どちらかに統一してもらえるとわかりやすいです。
- ・英語の授業もっと増やして欲しいです。よろしくお願いいたします。

学校評価まとめ

	肯定的意見
児童	授業がわかりやすい、先生が授業を工夫している、良いこと悪いことを伝えてくれる 勉強する意味や働くことの大切さを伝えてくれる、訓練を通して防災などの知識
教師	相談体制の充実 児童理解の共有 問題行動の組織的対応
保護者	HP や通信などで学校情報を発信 授業参観や行事の公開 子どもが楽しく登校

	否定的な意見
児童	自分から挨拶、規則正しい生活 進んで学習 大人に悩みをしっかりと聞いてほしい
教師	多忙、教材研究する時間が足りない、家庭学習の習慣化、体操服など用具が揃わない
保護者	子どもから挨拶、勉強することの意味や働くことの大切さを理解していない、読書について

次年度にむけて

支援的な指導に重点を置けば、言われないと動けない指示待ちの児童が増えてくる傾向にあります。さらに、中学校に進学すると教科ごとに先生が替わり授業進度も速いことから、自ら学ぶ姿勢（主体性）が重要になってきます。中学校へ進学してから戸惑わないように小中連携を行い「なぜ、学ぶのか」「なぜ、働くのか」など視点も入れつつキャリア教育の充実とも進めていきたいと考えています。今後、知識の習得だけで無く、学んだことを活用するような授業を行い、自分から学校や家庭で知識を活用し学んでいけるように取り組んでいくことが重要になってきます。

伊丹こども電子図書館や学校図書館を利用して、小学生のうちに読書に親しむ習慣をつけていきます。年齢相当の内容の読書ができるように、生涯を通じて学び続ける機会を大切にしていきます。

SNS や YouTube の利用などで夜更かしをすることで朝寝坊が長く続くと朝起きるのが難しくなったり、登校が困難になったりすることもあります。学校の pad は誰がどれだけ使ったか把握することができます。きまりを守って使いましょう。「お子さんはどのくらい寝ていますか」厚生労働省の調査によると小学生の睡眠時間は「9 時間～12 時間」必要と言われています。（厚生労働省健康づくりのための睡眠ガイドより）睡眠時間の確保や決まった時間に起きるなど規則正しい生活を目指していきましょう。しっかり目覚めて元気に挨拶できるようにしましょう。「挨拶は人間関係の潤滑油」と言われるように社会生活の基本です。教職員も声かけだけで無く、挨拶することの大切さも伝えつつ、しっかり挨拶することの意味も伝えていかないといけないと感じています。学校 HP 等を通しての情報公開、学習の場としての環境については保護者の方から高評価をいただいています。教職員自身も今の状況に満足するのではなく、より良い方法は無いか模索していきます。

学校運営協議会から（2025.1.24 開催）

「宿題は何でせなあかんの」親からは「なりたい職業に就くために選択肢を広げるためにするのだよ」と伝えても親が言っても響かないような気がします。5 年生が校長先生に何で宿題があるのか討論するのを聞いてもらったと聞きました。5 年生たちは自分たちで宿題の意味を理解したようで校長のところに「宿題をなくしてください」と言いに来ませんでした。「宿題について担任の先生とじっくり話し合うのもいいですね。」これから AI が発達し、自分の苦手なところだけ選んで出題される個別な学習も可能になると予想されます。委員さんから「塾（高校など）ではもう苦手を補うための AI ドリルが始まっているが、苦手な問題だけやらされたら地獄ですよ。心が折れます」「やっぱり子どもたちができる喜びを感じられるような宿題が出たらいいな」「今日学習したところから自由に選んで 2 ページにまとめるとか、今日は自由学習など」兄弟でも 1 人 1 人タイプが違うし声かけが難しい。受験前にして「あの時、勉強しとけばよかった」なんて言っても遅い。」「あと大学受験は結局体力です。毎日何時間も勉強せなあかんの、やっぱり小学生のうちからたくさん体を動かし体力をつけてほしい。」などたくさんの委員さんから貴重な意見をいただきました。